

# 夏越祭

(七月二十九日)



昨年の茅の輪をくぐる善男、善女



カキ氷、風せんつり、福引

# 岡田宮

— (宝永四年) 一七〇七年 貝原益軒書 —

第 25 号

平成10年7月吉日  
発行 岡田宮社務所  
北九州市八幡西区岡田町1番1号  
郵便番号 806-0033  
電話 (093) 621-1898  
FAX (093) 621-5330

明治天皇御製

一、さかきは榊葉にかくるかがみ鏡をかがみにて  
ひとこころ人も心をみがけとぞ思ふ。

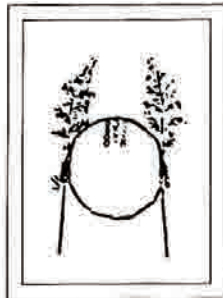
夏越の大祓神事を七月二十九日午後六時より執り行います。

社頭に茅チガハの輪を設け、その茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄とを招来するという古式に則った夏越祭を厳修致します。

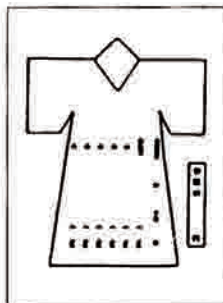
ご参拝の方は左記の形代に御家族の住所、氏名、年令を書いて、各自

の息を吹きかけ初穂料を納めお参り下さい。

ご参拝の方には「お札」と「茅」を授与致しますので、魔除として、玄関に奉斎して下さい。  
当日、お参り出来ない方は前もって社務所で形代をおあずかり致します。



形代 (表)



形代 (裏)

産土  
森神  
守護

# 第三回 岡田神社書道展

◎会期

平成九年七月二十七日～

八月二日まで

◎表彰式

平成九年七月

二十九日

◎出品展数

六五〇点



◎岡田宮賞

- 小一 中山卓海
- 小二 近藤彩紀
- 小三 下村理葉子
- 小四 櫻井聖子
- 小五 原田友絵
- 小六 内田佳織
- 中一 前田愛佳
- 中三 山口なお美

◎総代会長賞

- 小一 木下未沙都
- 小二 川内宏美
- 小三 中山史蘭
- 小四 尾山貴洋
- 小五 深町まどか
- 小六 久野哲士
- 中一 古本紗耶佳
- 中二 池田真夕

## 郷土地名考

(25)

### 皇后崎 (こうがさき)

皇ヶ崎と書く例も増えてきた。何となくあでやかな感じのする地名だが、北九州には神功皇后にまつわる伝説が多い。この地名もそのひとつ。記紀によると仲哀天皇は神功皇后の朝鮮出兵に反対して死んでしまおうが皇后は出陣、その途中寄ったのがこの岬だった。だから皇后崎とこの岬だ。だから皇后崎とこの岬だ。だから皇后崎とこの岬だ。漢字は当て字というのが今は定説。

コーガは空地、空閑地の意。当て字して久我、古賀、空閑、小賀、甲賀。サキは岬だが、コーガサキの音が神功伝説にあやかっって皇后崎になった。

優しい名前だが神功は亭主の首をねじ殺したという説のある猛女であった。

### 陣の原 (じんのはら)

十二世紀末、北九州は平家の支配下であり、遠賀川下流域は藤原一族の山鹿秀遠が押さえていた。

寿永二年、源氏に追われ太宰府に逃れた平家は、在地領主の反乱にあって山鹿に走った。迎えたのが秀遠である。ここで戦力を貯えた平家は反撃に転じたが一の谷、屋島の戦いに敗れ彦島に撤退したあと壇の浦の決戦を迎える。

一方、源範頼は九州に上陸、義経に呼応して平家を背後から挟撃した。これを迎え撃ったのが秀遠だった。香月莊司(莊園の管理者)秀則で、陣の原で対戦した。勝敗は自ら明らかである。このとき範頼が依った陣地が本城という事になっているが、付近には力丸、蛭子谷、的場、今廻手など中世遺跡や地名が多い。本城と陣の原を流れる堀川にかかる橋は両方の頭字をとって本陣橋。ここに本陣があったわけではない。

# 七五三

七五三祭は、子どもの成育にとともに折り返し、折り返しに神社にお参りして、いっそうの息災成長を祈る行事です。

三歳の祝いを髪置、五歳の祝いを袴着、七歳の祝いを紐落などと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成十年の七五三の年齢は、左記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

## 記

- 三歳 平成八年生
  - 五歳 平成六年生
  - 七歳 平成四年生
- ※年齢はかぞえ年で、  
※毎日午前九時より午後五時まで受付をしております。



# 神社 問答

(その25)



◆ お賽銭について教えて下さい。また、賽銭箱に投げ入れることは神様に失礼にならないのですか。

お賽銭の意味や起源には諸説があります。現在では神社にお参りすると、お賽銭箱に金銭でお供えしますが、このように金銭を供えることが一般的になったのは、そう古いことではありません。

元々、御神前には海や山の品が供えられました。その中でも、特

に米を白紙で巻いて包み「おひねり」としてお供えしました。

私たちは祖先の代より豊かな自然に育まれて暮らし、秋になるとお米の穂りに感謝をして、刈り入れた米を神様にお供えしました。こうした信仰にもとづき米を「おひねり」としてお供えするようになったのです。しかし、貨幣の普及とともに、米の代わりに、金銭も供えるようになりました。

そもそも米は、天照大御神様がお授けになられた貴重なものとされ、人々はその大御恵（おほみめぐみ）を受け、豊かな生活を送ることができよう祈ったのです。現在でも米をお供えする方もいますが、金銭をお供えすることも、この感謝の気持ちには変わりありません。

お供え物を投げてお供えすることには、土地の神様に対するお供えや、敵いの意味があるとも言われております。しかし、自らの真心の表現としてお供えすることなので、箱に投げ入れる際には丁寧な動作を心掛けたいものです。

## 岡田神社総代会役員

総代会々長 末益友之助  
(責任役員)

総代会副会長 片村英輔  
(責任役員)

総代会理事  
菅原了  
片田一夫  
田中正夫  
森中肇  
大石友之  
岡石実夫  
岡尾通俊  
西尾弘  
伏原吉  
菊竹常志  
藤村初志  
黒瀬義信  
佐々木泉  
寺田智一  
木村幸男  
安西恒夫

奉納記  
(新任)

平太鼓 一基 (株)中国工業所  
内侍灯笼 田中正夫・田中ヤスノ

# 神社総代研修会

三月二十七日小雨のち曇り。

片田一夫総代会副会長以下四

十二名を乗せたバスは熊本市鎮

座の北岡神社に向けて出発。

神社に到着後正式参拜。

お祓いの後、井芹弥宜さん

の優雅な祭祀舞を見  
せて頂き、井芹宮司  
様の講話を拝聴させ  
てもらいました。

神社の会館で昼食  
後、宮本武蔵ゆかり  
の島田美術館を見学。

今回も多くの神社  
関係の研修をしてま  
いりましたので、今  
後の神社運営に反映  
していきたいと思っ  
ます。



## 心

本気

本気ですれば  
たいいな事はできる  
本気ですれば  
なんでも面白い  
本気でしていると  
たれかが助けてくれる  
人間を幸福にするために  
本気ではたらいっているものは  
みんな幸福で  
みんなえらい

## 内在の自己

現在の自己が  
過去の自己が  
何であるかを語らなくていい  
将来の自己が  
何でありたいか  
何であらねばならないか  
内に大いなる自己が眠っている  
過去にも現在にも  
まだ現れたことがない  
内在の自己を呼びさませ  
大した仕事ができあがる

楽しい雰囲気・明るいスタジオ

(株) **有川** 写真館

岡田宮内にスタジオ完備

宮参り、七五三など

撮影時、衣裳無料でお貸ししています。

☎ 0120~62~2080

写真館

PePe

北九州プリンスホテル、ペペ2F  
インドアプール前にオープン

各種衣裳取りそろえております。

☎ 0120~620~753